

# アイヌ政策推進交付金を活用したまちづくり事業

町は令和元年度に「白老町アイヌ施策推進地域計画」を策定。国からの認定を受け、従来の文化振興、福祉施策に加え、地域や産業、観光の振興を含めた多様な事業にアイヌ政策推進交付金を活用したまちづくりを進めています。

## 令和3年度の活用実施事業 ( )は事業費

### 【文化振興事業】

- 伝統的なアイヌ文化・生活の場(イオル)再生 (22,461千円)
- アイヌ文化継承人材(伝統手工芸の担い手等)の育成 (6,653千円)
- 小中学校におけるアイヌ文化体験やふるさと給食の提供 (1,780千円)

### 【地域・産業振興事業】

- ウポポイや地域のアイヌ文化をPRする観光プロモーションと、アイヌ文化を活用した商品開発 (21,565千円)
- ポロトミンタラにおけるウポポイや地域のアイヌ文化と観光資源をPRするおもてなしイベント (6,652千円)
- 町立病院におけるウポポイ来訪者などの急病人対応のための体制整備 (46,387千円)
- ウポポイなどのアイヌ関連施設や町内主要スポットをつなぐ地域公共交通(元気号・カムイ号・ぐるぼん)の運行 (81,691千円)
- JR利用者の利便性確保のための駅臨時改札の設置 (3,818千円)

### 【コミュニティ活動支援事業】

- 小中学生学力向上のための、学習支援員の各校配置 (11,418千円)
- 伝承活動などを実施可能とする多機能型「白老生活館」への改築(基本設計など) (20,092千円)

## 活用事業例

### 小中学校におけるアイヌ文化体験およびふるさと給食の提供

アイヌ古式舞踊やムックリ演奏体験などをふるさと学習に取り入れるとともに、アイヌの人たちが昔から食してきた食材や伝統料理を給食で提供し、体験と味覚を通じたアイヌ文化への理解を深めます。



### ウポポイなどのアイヌ関連施設や町内主要スポットをつなぐ地域公共交通の運行

アイヌ文化を身近に感じていただくためアイヌ文様ラッピングを施した、地域循環バス「元気号」やデマンドバス「カムイ号」、交流促進バス「ぐるぼん」を、町内全域で運行します。



### アイヌ文化継承人材(伝統手工芸の担い手)の育成

(一社)白老アイヌ協会と連携し、アイヌ文化・歴史伝承者や、刺しゅう・木彫など伝統手工芸の担い手、次代を担うアイヌ文化継承人材の育成に取り組みます。



問い合わせ先：政策推進課 アイヌ政策推進室 ☎82-7739

## 知っておこう アイヌ文化

# ニス

イランカラプテ。チキサニでは4月17日(土)、イオルミニ体験「ペネイモ作り」を開催しました。ペネイモ(ペネコショイモ)は凍ったジャガイモを利用したアイヌ民族の伝統保存食です。さて、今回はペネイモ作りに使う道具、ニス(臼)に注目したいと思います。アイヌ民族はかつて、栽培したアワやヒエなどの穀物は穂のまま貯蔵し、適量取り出してはその都度、日課としてニスとイウタニ(杵)で脱穀を行った他、オオウバユリの鱗茎からデンプンを取り出す際にもニスを利用するなど、生活に欠かせないのである道具でありました。ですから、人間の手によって作られた道具であっても「カムイ(神)」として尊んだのです。白老アイヌの詩人、森竹竹市(1902~76年)によれば、ある心根の良い村長の一家が夜襲に遭い、村長の生まれたばかりの息子である主人公を守ろうと、母親はとっさに庭に伏せてあるニスの中に主人公を隠して、ニスに息子だけは助けてくださいと懇願。主人公の両親は夜襲をかけた者に殺害されてしまい、ニスがお婆さんに化けて主人公を一人前に育てあげ、ついには主人公一家に夜襲をかけた隣国の者へ復讐させるという物語が伝承されています。※ペネイモの詳細は広報「元気」令和2年6月号の当コラムにてご紹介しました。



胴の細くくびれた形状が特徴のニス

問い合わせ先：イオル事務所 チキサニ ☎82-6301